

注意点1



指の使い方を覚えてコードを的確に鳴らすべし

まずは、メイン・フレーズに登場する4つのコードの押さえ方を確認しよう(写真①~④)。C(1小節目)は、人差指を立てて2弦1フレットを押さえることが大切だ。G^{*}(onB)(2小節目)は、小指に力を入れてほしい。Am(3小節目)は、指を立てて開放弦を綺麗に鳴らそう。F(4小節目)は、人差指の側面に重心を置いてセーハするとよい。コードをしっかりと鳴らせるように練習しよう。



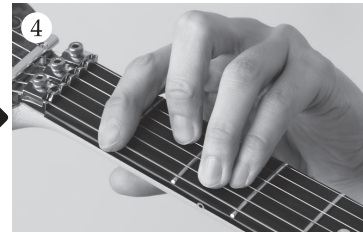
1 ① メイン・フレーズ1小節目のC。指をしっかりと立てよう。



2 ② 2小節目のG(onB)のフォーム。薬指と小指を広げよう。



3 ③ 3小節目のAm。人差指が1弦に触れないように注意!



4 ④ 4小節目のF。人差指のセーハに注意しよう。

注意点2

音が途切れるのは厳禁! アルペジオの正しい弾き方

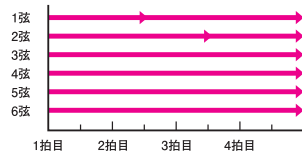
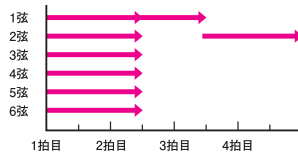
メイン・フレーズは、コードを分散させながら、各音を繋げて鳴らすアルペジオ・フレーズとなっている(図1)。途中でコード音が途切れてしまうと、アルペジオにはならないので、各音をしっかりと伸ばすように心掛けよう。どのコードも、特に1&2弦を的確に発音できるように練習してほしい。

図1 アルペジオの仕組み

・メイン・フレーズ1小節目

✕ 音が途切れる

○ 音が伸びて繋がる



~コラム5~

地獄の戯れ言

メイン・フレーズ2小節目に登場するロー・コードのGは、ギタリストや教則本によって、押さえ方が分かれるコードとなっている(写真⑤&⑥)。曲調や前後のフレーズに合わせて押さえ方を変えていくことができるのが理想的だが、初心者はまずはコードを綺麗に鳴らせるフォームをひとつ身につけられるとよいだろう。

押さえ方はひとつだけにあらず! Gコード・フォームのバリエーション紹介



5 ⑤ 6弦:中指、5弦:人差指、2弦:薬指、1弦:小指のフォーム。2弦3fを押さえているのが特徴となる。



6 ⑥ 6弦:中指、5弦:人差指、1弦:薬指のフォーム。小指を使わないので、初心者にお勧めだ。

[G(onB)] バック・トラック(カラオケ)のベース音との関係で、G(onB)という表記になっているが、ギター自体はGメジャー・コードを押さえている。ちなみに、このような表記のコードは“オン・コード”と言う。